

# Oracle WebCenter Sites 12c Release 2 DataDiff移行ツール

Oracle ホワイト・ペーパー | 2018年1月



ORACLE®

## 免責事項

下記事項は、弊社の一般的な製品の方向性に関する概要を説明するものです。また、情報提供を唯一の目的とするものであり、いかなる契約にも組み込むことはできません。マテリアルやコード、機能の提供をコミットメント（確約）するものではなく、購買を決定する際の判断材料になさらないで下さい。オラクルの製品に関して記載されている機能の開発、リリース、および時期については、弊社の裁量により決定されます。

## 概論

Oracle WebCenter Sites (Oracle WCS) 11g から 12c へのアップグレードはアウトオブプレースであり、Oracle WCS 12c を Oracle WCS 11g とは別の場所にインストールし、Upgrade Assistant を使用して 11g 環境からデータと構成を移行する必要があります。12c 環境をテストして準備するときに、引き続き本稼働している 11g システムでコンテンツ開発を続行します。12c 環境の本稼働の準備ができれば、11g 環境で使用されていたコンテンツを 12c 環境と同期させる必要があります。

DataDiff 移行ツールは Upgrade Assistant ツールが強化されたもので、このような追加を 11g 環境と 12c 環境間で何度も同期する際に伴う時間と作業を軽減します。

## おもな機能

DataDiff 移行ツールは、ベーシック・アセット、フレックス・アセット、フレックス定義、テンプレート、CSElement、ページ・アセット、セグメント、推奨、プロモーション、コンテンツ問合せ、ファイル・リソース、ディメンション、スタイル・シートといったアーティファクトを移行します。

このツールでは、以下のことが行われます。

- » 11g 環境内の新たに追加されたすべてのアーティファクトが 12c 環境に移行されます。11g 環境内の変更されたすべてのアーティファクトが 12c 環境に移行されます。
- » 11g 環境と 12c 環境の両方で変更されたアーティファクトが 12c のアーティファクトを上書きします。
- » 12c 環境でのみ変更されて 11g 環境では変更されていないアーティファクトは、そのままの状態を維持します。
- » 初期アップグレード後に 11g 環境にユーザー、ロール、ツリー・タブ、スタート・メニュー、およびサイト・ナビゲーションが追加された場合、これらの追加が 12c 環境に移行されます。ただし、これらのアーティファクトの変更は移行されません。

## DataDiff移行ツールの使用方法

DataDiff 移行ツールを実行する前に、以下のアウトオブプレース・アップグレード・プロセスに従い、Upgrade Assistant ツールを使用して [Oracle WCS を 11g から 12c にアップグレード](#) します。

## 前提条件

DataDiff 移行ツールを実行する前に、以下の前提条件を満たしていることを確認します。

- » WebCenter Sites 11g および 12c の動作インスタンスにアクセスしている。
- » 初期アップグレード後に Oracle WCS 12c サーバーを再起動して、正常に機能していることを確認している。
- » Oracle ホームおよび Oracle WCS のスキーマをバックアップしている。

## 11gから12cへの差分移行

11g から 12c に差分データとアセットを移行するには、以下の手順を実行します。

1. Oracle WCS 12c の管理サーバーと管理対象サーバーを停止します。
2. {ORACLE\_HOME}/wcsites/plugins/upgrade で、標準の sites-upgrade.jar を更新後の sites-upgrade.jar に置き換えます。パッチ番号 27421959 から sites-upgrade.jar ファイルを取得できます。パッチをダウンロードするには、[support.oracle.com](http://support.oracle.com) にアクセスしてこのパッチを見つけます。
3. 以下の変更を加えます。
  - a. 以下の場所にある Oracle WCS 構成ファイル内のプロパティ oracle.wcsites.upgrade.history を削除します。  
wcs\_properties.json ({ORACLE\_HOME}/user\_projects/domains/{DOMAIN\_NAME}/wcsites/wcsites/config/ 内)
  - b. schema\_version\_registry 表内で、アップグレード後のフラグを以下のように Y から N に変更し、変更をコミットします。
    - **MSSQL**.UPDATE DB\_NAME.[dbo].[schema\_version\_registry\$] SET upgraded = 'N' WHERE owner = 'DEV\_WCSITES'
    - **Oracle**.UPDATE schema\_version\_registry set upgraded='N' WHERE owner = 'DEV\_WCSITES'; COMMIT;

**注：**DEV\_WCSITES（ここで、DEV はプリフィックス）などのスキーマ所有者は、Repository Creation Utility (RCU) の実行中に作成された所有者の名前です。
4. 以下のように、Upgrade Assistant を実行し、差分変更を 11g インスタンスから 12c インスタンスに同期させます。
  - a. [Upgrade Assistant](#) を使用してスキーマをアップグレードします。
  - b. [Upgrade Assistant](#) を使用して構成をアップグレードします。

**注：**スキーマのアップグレードを実行してから、構成のアップグレードを実行してください。
5. Oracle WCS 12c サーバーを再起動して、差分変更が 11g から 12c に正しく移行されていることを確認します。

このツールを再度実行する場合は、すべての手順を繰り返します。



## 結論

Oracle WebCenter Sites では、本稼働システムとアップグレード後システム間でデータ損失のリスクなくコンテンツを同期するのに役立つ重要なツールとして、DataDiff 移行ツールを提供しています。11g 環境から 12c 環境への移行を、はるかに適切かつ段階的に管理できるようになりました。



**Oracle Corporation, World Headquarters**  
500 Oracle Parkway  
Redwood Shores, CA 94065, USA

海外からのお問い合わせ窓口  
電話：+1.650.506.7000  
ファクシミリ：+1.650.506.7200

#### CONNECT WITH US

-  [blogs.oracle.com/oracle](https://blogs.oracle.com/oracle)
-  [facebook.com/oracle](https://facebook.com/oracle)
-  [twitter.com/oracle](https://twitter.com/oracle)
-  [oracle.com](https://oracle.com)

#### Integrated Cloud Applications & Platform Services

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved. 本文書は情報提供のみを目的として提供されており、ここに記載される内容は予告なく変更されることがあります。本文書は、その内容に誤りがないことを保証するものではなく、また、口頭による明示的保証や法律による黙示的保証を含め、商品性ないし特定目的適合性に関する黙示的保証および条件などのいかなる保証および条件も提供するものではありません。オラクルは本文書に関するいかなる法的責任も明確に否認し、本文書によって直接的または間接的に確立される契約義務はないものとします。本文書はオラクルの書面による許可を前もって得ることなく、いかなる目的のためにも、電子または印刷を含むいかなる形式や手段によっても再作成または送信することはできません。

Oracle および Java は Oracle およびその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称はそれぞれの会社の商標です。

Intel および Intel Xeon は Intel Corporation の商標または登録商標です。すべての SPARC 商標はライセンスに基づいて使用される SPARC International, Inc. の商標または登録商標です。AMD、Opteron、AMD ロゴおよび AMD Opteron ロゴは、Advanced Micro Devices の商標または登録商標です。UNIX は、The Open Group の登録商標です。0118

DataDiff 移行ツール 2018 年 1 月  
著者：Debosri Brahma  
共著者：Keerthi Nutakki、Vinod Kandukuri、Sripathy Rao



Oracle is committed to developing practices and products that help protect the environment